

政府衛星データ・宇宙物体データ等の利用環境整備事業

令和3年度概算要求額 16.4億円（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- 宇宙由来のデータの質・量が抜本的に向上する中、衛星データは、農業やインフラ、金融等の課題に対しソリューションを提供していくことが期待されています。
- 本事業では、政府が運用する地球観測衛星のデータの活用を促進するため、衛星データ及び衛星データと親和性のある地理空間情報を組み合わせた新たなサービスの開発に際しての共通技術課題に係る調査研究を行います。
- また、軌道上の宇宙ゴミ（スペースデブリ）の数は年々増加しており、衛星運用にとって大きなリスクとなっています。このため、政府が所有する宇宙物体の観測データ等を活用し、宇宙物体の軌道情報を適切に民間事業者へ提供するプラットフォームを構築します。これにより、衛星運用事業者が安全な運用を行える環境整備を行い、衛星データの利用拡大を進める上での基盤を整備します。

成果目標

- 衛星データ利用産業の拡大に貢献しつつ、安定的かつ継続的に衛星データを取得・利用可能な宇宙産業の事業環境を確保するため、民間事業者へ宇宙物体の軌道情報等を提供するプラットフォームを令和4年度までに構築します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国



民間企業等

事業イメージ

（１）衛星データを利活用した新たなサービス事業の促進

- 衛星データ及び衛星データと親和性のある地理空間情報を組み合わせてサービスを開発する際の共通技術課題の調査研究を行い、衛星データの利活用を促進します。

（２）宇宙状況把握サービスプラットフォームの構築

- 政府が整備を進めている光学望遠鏡・レーダーによる宇宙物体の観測データ等を活用し、衛星運用事業者等向けに、衛星とスペースデブリとの衝突予測等のサービスを提供するプラットフォームを構築します。
- また、民間事業者の多様なニーズに応えるため、プラットフォームには、民間の観測データとのデータ統合機能や、データ解析機能を備えます。これにより、民間事業者が安定的な衛星運用を行うことが可能となり、持続的な宇宙環境の利用に貢献します。

【センサ】



データ
取得

【宇宙状況把握サービス
プラットフォーム】



サービス
提供

【ユーザー】

- 衛星運用事業者
- 軌道上サービス事業者（スペースデブリ除去事業者等）
- ロケット打上事業者